

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/kejiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

日本板硝子材料工学助成会 令和7年度(第47回)研究助成

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会では令和7年度研究助成の募集をしています。詳細は下記HPをご参照下さい。助成対象：無機材料およびこれに関連する科学・技術研究。助成額：総額46百万円程度(40件程度、1件130万円以下)。募集期間：令和6年8月1日(木)～11月

18日(月) [必着]。問合せ先：事務局長 浜中賢二郎 電話(03)6757-1203 E-mail: kenjiro.hamanaka@nsg-zaidan.or.jp <http://nsg-zaidan.or.jp>

東洋合成記念財団 2025年度の研究助成の募集

(公財)東洋合成記念財団は2025年度の研究助成の募集を行います。詳細は下記HPをご参照あるいは下記

連絡先にお問い合わせ下さい。募集要項：〔助成対象研究テーマ〕有機・無機および高分子化合物の光化学に関する研究・感光性有機化合物、感光性樹脂およびリソグラフィ関連材料に関する研究・有機化合物の不純物除去技術または分離精製技術に関する研究・化学プロセス工学に関する研究・香料および香気成分に関する研究・新規触媒の開発およびそれを用いた有機合成反応に関する研究。対象者：国内の大学または学術研究機関に常勤し、研究を主体的に行っている45歳以下の研究者・実質的に同一の研究テーマで他の財団の助成金等を受けていない。募集期間：2024年9月1日(日)～10月31日(木)。〔助成内容〕助成金額：1件200万円。助成件数：2件程度。連絡先：(公財)東洋合成記念財団事務局 千葉県市川市上妙典1603 電話(047)320-5766 Email: tgk_zaidan@tgcfnd.or.jp <http://www.tgcfnd.or.jp/>

第31回うま味研究助成のご案内
うま味研究会(<https://www.srut.org/>)

では第31回うま味研究助成の公募を行っています。募集研究分野：〔うま味に関する基礎研究〕うま味の感知や受容機構の解明等を対象とした研究。生理学、分子生物学、神経科学など。〔うま味に関する応用研究1(生体機能)〕うま味物質の摂取が生体にもたらす効果や機能等を対象とした研究。栄養学、食品機能学など。※特に、ヒトの母乳に遊離グルタミン酸が多く含まれることの意義の解明等に寄与する研究、グルタミン酸の消化促進や満腹感への寄与に関する研究を募集。〔うま味に関する応用研究2(食品科学)〕うま味物質の食品中での挙動あるいは役割等を対象とした研究。食品科学、食品工学など。※特に、「減塩におけるうま味物質の役割」という課題に対して新しい科学的知見を加えることが期待できる研究を募集。研究期間：2025年1月1日から2年間。採択件数と助成額：合計5件程度、1件あたり総額100万円程度。応募方法：助成要領HP (<https://www.srut.org/subsidize/saboutline/>) をご参照下さい。締め切り：2024年10月31日(木)

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- “掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限ります。
- 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- 同一原稿の掲載は1回に限ります。
- 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- 専用フォーマット使用方法
 - 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。
【使用できない文字例】
 - 半角カナ；アカカ、記号(約物)；。〔(・/ 等
 - ローマ数字；I II III IV、丸数字；①②③④
- テキスト上で表現できない文字(外字、作字)については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- 文書中で書式指定(上付き、下付き、イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$ ²
・下付； $CO_2 \rightarrow CO$ ₂
・イタリック；*italic* <I> italic </I>

- 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意下さい。
- 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- 原稿締切日(当月25日)まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話(03)6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp